

1. 評価結果概要表

作成日 2007年10月19日

【評価実施概要】

事業所番号	1271201277		
法人名	株式会社コンコード		
事業所名	グループホームマーガレット		
所在地	千葉県松戸市八ヶ崎5-29-16 (電話) 047-344-0972		
評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年10月17日	評価確定日	11月7日

【情報提供票より】(19年9月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤 4人, 非常勤 9人, 常勤換算7.4人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨・木造 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	食40,000 + 水光熱15,000 + 実費	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:3年)	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要(9月27日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	65 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	おおたかの森病院 白石歯科医院 ラビット歯科
---------	------------------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の豊かな住宅街にある普通の民家で、周りに自然に溶け込んでいる。近くに大きな公園があり、入居者の毎日の散歩コースになっている。管理者は看護師経験が長く、その経験を活かしながら、理想のホームを作る努力をしている。「元気で長生きしたいと思える」ように暮らしてほしいという管理者の強い思いが職員にも良く伝わっており、入居者を支えている。室内で犬を飼っていて、散歩に連れて行くのを楽しみにしている人もあり、癒しの存在になっている。テーブルの上には入居者が活けた花があり、季節が感じられた。日々の暮らしの中で、一人ひとりが楽しみを見出している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価は職員全員で検討している。前回調査後にできた職員休憩室は入居者も利用可能で、改善点であった「共用空間における居場所の確保」の改善にもつながっている。また、ホームの入り口がわかりにくいとされていたが、看板を2ヶ所に設置して、分りやすくした。ドアにも目印があると、より訪問しやすいと思われる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果も職員全員で検討した。今回の自己評価も職員全員がそれぞれの意見を出し、検討してとりまとめ、自己評価を作成した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、過去1回だけ開催された。討議内容は、「グループホームでのお茶会の開催」等、身近で、地域との交流を図ることを目的とした議題が多く取り上げられた。しかし、まだ開催は1回だけということもあり、活かすというところまでにはいたっていない。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族が面会に訪れる機会が多いので、その時を捉えて、意見、要望を聞くようにしており、運営等にも反映させていきたいと考えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会の消防訓練や清掃、お祭りには入居者も参加している。また、毎朝の散歩で顔みしりも出来て、あいさつは欠かせない。入居者が育てている野菜を近所に配ったり、反対に頂いたり、ごく普通の近所付き合いができています。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「元気で長生きしたいと思ってもらう」という独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「元気で長生きしたいと思ってもらう」ために、管理者、職員はそれぞれの立場で入居者と向き合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の消防訓練や、掃除、お祭りには入居者も参加している。また、近隣の散歩では挨拶を交わし、手作りの野菜を近所に配ることもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果は職員全員で検討し、改善された箇所も多々ある。今回の自己評価も全員が参加して作成している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は過去1回実施されただけなので、まだ、サービス向上に活かすというところまではいたっていない。		定期的な開催で、さまざまな分野や身近な事についての意見を取り入れ、より地域に根ざし、また、サービス向上にもつなげていくことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在1ユニットだが、2ユニットにする予定があるので、その件で市とは連絡を取り合っているが、サービスの質の向上を目的とした連携ではない。		市町村との連携は不可欠と思われるので、機会を捉えて、ホーム側からアプローチすることが期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	今はご家族の面会が多いので、その際に、報告をしている。訪問の少ないご家族に対しては、電話で報告をしている。金銭管理に関しては、月1回、請求書に明細を付けている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会が多いので、取り立てて、機会は設けていない。		面会時には意見がなかなか出にくいということも考えられるので、家族会を作る等して、要望を引き出し、反映させていく体制が望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで、管理者、職員とも交代はなかった。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修については、折を見て実施している。外部研修は、情報提供をして、参加、不参加は職員に任せている。		できれば、個々に必要な研修を見極め、計画的に受講できる体制があると良いと思われる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	機会があれば、管理者・職員と一緒に訪問し、また、訪問の希望があれば、受け入れている。定期的な交流までにはいたっていない。		交流を通じて、サービスの質の向上を図るという視点から、ネットワーク作りが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前には必ず、入居者ご本人にも見学してもらい、できるだけ、安心してもらえるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員はみな、入居者を人生の先輩として尊敬の念を持って接している。特に調理に関しては、切り方、味付け等、職員が教わることが多い。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居者の自立と言う事を、まず一番に考え、日々のかかわりの中で職員は傾聴・観察に努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者や家族の要望を聞き、職員全員で介護計画を立てている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	職員が記録する入居者の状態、変化に応じ、その都度、介護計画を見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者・家族の希望に応じて、お墓参り、定期受診、外出、外泊に柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医で24時間受け入れ体制のある病院が3件あり、その他、入居者個々のかかりつけ医での受診も可能である。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応について、入居者・家族と十分話し合い、病院との連携も出来ている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	家庭的な雰囲気大切にしつつ、入居者の誇りを尊重し、さりげない言葉かけや対応に配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決まっているが、その時の入居者の気持ちを尊重し、出来るだけ個別性のある支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みをメニューに取り入れ、調理から片づけまで入居者と共に行い食事時間を楽しんでいる。どうしても食べられない時は、ヤキソバ、パン等の代替もある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴する順番等は入居者の希望を考慮しているが、曜日、時間帯が決まっている。		人員配置の点で、難しい面があることは理解できるが、少しずつでも、曜日、時間帯について入居者の希望に柔軟に対応できる工夫を期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道、編み物、語学と入居者の経験や知恵を發揮できるような場面を作っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	恵まれた環境の中で日常的に散歩、買い物、図書館等へ出かけ、心身の活性につなげている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者が外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声をかけて一緒について行き、安全面に配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難場所の把握、近隣の方の協力は得ているものの、まだ一度も非難訓練を行っていない。		消防署、地域住民の参加協力を経て非難訓練を定期的に行うことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック、表に記録し、定期的に栄養士のアドバイスを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境の良い場所をいかして、カーテン、テーブルの上の花、壁の手作りカレンダー等で、入居者が我が家にいるという意識を高める工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれ入居者の好みや馴染みの物を持ち込み、居室の居心地の良さに配慮している。		